

2. 国際花と緑の博覧会(略称:花の万博)の開催

鶴見区で行われた史上最大のイベント。アジアで初めての国際園芸博覧会であり、大阪市内で開催された初めての国際博覧会です。会期中、目標入場者数 2,000 万人に対し、2,312 万人もの来場者を迎え、想定を超える盛況を博しました。

当初、平成元年の大阪市制 100 周年記念事業として構想され、国内博覧会として準備が進められていたイベントでしたが、多くの人々の関与・支援により、開催年を翌年に移し、国際博覧会条約に基づく国際博覧会として開催することが決定されました。

「花の万博」の開催を控え、地下鉄長堀鶴見緑地線の開業や花博通(都島茨田線)の整備など、鶴見区内の社会インフラが急速に整備されることとなり、鶴見区発展の大きな契機となりました。また、「花の万博」の開催以降、メディアでガーデニングの特集記事が急増し、花壇苗の出荷量が急激に伸びるなど、その後のガーデニングブームを巻き起こしたと言われており、平成 9 年には、「ガーデニング」が流行語大賞に選出されることとなりました。

- 開催日程 平成 2 年 4 月 1 日～9 月 30 日
- 会 場 鶴見緑地(約 140ha)
- テ ー マ 『自然と人間との共生』
- ね ら い 「花と緑と人間生活のかかわりをとらえ
21 世紀へ向けて潤いのある豊かな社会の創造をめざす」
- 参加国・団体 83 か国、55 の国際機関、212 企業・団体
- 来場者数 2,312 万 6,934 名
(1 日の最大来場者数:37 万人(9 月 23 日))



花の万博 公式キャラクター
花ずきんちゃん

